

ロータリー一週間 今月:ロータリー親睦活動 来月:

6月24日例会より

## 『年度末例会 一年回顧』

<会長挨拶> 小森勇一会長



いよいよ年度末例会となりました。1年間ご協力ありがとうございました。さて、本年は、地区大会が中止されましたので、表彰状が贈られてま

いりました。まず、国際ロータリー会長による表彰の「ロータリー賞」です。賞状をご覧ください。次は、ご高齢の会員に贈られます長寿会員表彰でございます。花園文熙様の表彰でございます。おめでとうございます。

実は先週、高萩市社会福祉協議会に参りまして、マスクと赤外線体温計 8 台を寄贈してまいりました。それに対して、会長であります大部勝規市長の礼状と感謝状をいただきました。ご披露いたします。 本日は1年回顧です。よろしくお願いたします。



<幹事報告> 今川隆幹事



次年度の会員増強維持の出前卓話の案内が来ています。昨日ロータアクトの例会がありました。地区協議会が開催されるにあたり、県

北がポストとなり高萩よりアクト委員を選出の予定

<委員会その他の報告>

社会奉仕委員会 石君平委員長



アジサイロード6月22日草刈り実施しました。ご覧ください。例会終了後、50周年プログラムの実施について打合せあり。

結論 当面予定通り進める。盆明け8月の終わり迄に延期又は縮小実施の結論を出すことにする。

<本日のプログラム一年回顧会長幹事>

小森勇一会長

### 1 中村年度の目標にどう取り組んだのか

本年度がバナーは、「人、学んで更なる奉仕」という穏やかな人間修養を前面に出したスローガンを立てて取り組みました。その中に、活動の評価として、ロータリー賞達成という目標がありました。お陰様で、その目標を達成できましたことを、心から御礼申し上げます。特に新会員の方を、大平敏明さん、佐藤利雄さん、和田昌也さん、

月 日	プログラム	担 当	6月24日 出席報告		
			会員数	出席者	欠席者
7月1日	新年度方針5大奉仕委員会	会長・5大奉仕委員会	34	21	10
7月8日	各委員会の方針	各委員長			
7月15日	100%出席者表彰委員会方針	出席・委員長	出席率: 67.74%		
7月22日	前年度決算・本年度予算	会計	前々週訂正 83.33%		

事務所: 〒318-0033 高萩市本町 2-65  
常陽銀行高萩支店内 TEL/FAX: 0293-24-0505

URL <https://www.takahagirc.jp>

E-Mail: takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長: 小森 勇一  
幹 事: 今川 隆

例 会: 毎週水曜日 12:30~13:30

公共イメージ委員: 石君平 和田昌也 小森勇一 大高司郎  
棚谷 稔 今川隆 大平敏明 石平光

四つのテスト

言行はこれに  
照らしてから

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになる

滝徳宗さん、佐々木聡さん、橋本義隆さんと6人の会員をお迎えできたことは本当に素晴らしく、御礼申し上げます。

## 2 職業奉仕

1959-60年度(昭和35)の国際ロータリー会長はハロルド・トーマスさんでニュージーランド・オークランドRCの会員ですが、職業分類の原則が希薄になっていくのを憂いと言っておりました。昔の考え方とも言えますが、ロータリーは職業奉仕を大切にするということです。

「社会に役立つ人間になる方法はいろいろあるが、最も身近な方法は、自分の職業活動であり、職業活動は、サービスの実行行為である。」と言われていました。視点を変えると、社会は職業の集まりであり、職業は人々のニーズ、生活を満たしている活動です。ロータリーは、社会において職業が占めている、意義と価値が最高であることを認識し、品位を高め、職業活動を最善のものにしていくとしています。色々な職業の方に入会していただくのは、その原点を再認識できることであります。私などのように定年退職のOBは、無職ですが、職業活動で養ったプライドと矜持を活動に活かすということです。具体的には1989年平成元年ですが、規定審議会が採択した「ロータリアンの職業宣言」があります。これを、しっかり学習し原点に戻りたいと考えます。

## 3 例会参加出席の向上

毎年のことながら、例会に出席していただくのが困難な方がいますが、最近の情勢で益々、職場を離れられない傾向は強まっています。したがって、出席についても柔軟な考え方が、一般的になってきていますが、一人一人の会員に応じて、きめ細かく、参加活動計画を立てていただき、対応していただくのが良いのではないかと考えますが、原則の堅持と柔軟性の調和をどうするのか、もっとしっかり検討しなければならないと考えています。第2は、インターネットの活用をはかって、自宅や職場にいても、情報をしっかり共有できる仕組みを整えたいと思います。私自身も、これまでの生活習慣で、インターネットの活用ができていませんが、皆様にホームページと、マイロータリーの活用をお願いしたいと考えています。

第3に、いよいよ、オンライン例会の活用が時代になってきたと考えています。ロータリーの会議に参加したり、出席したり、パソコン等の通信

機器、道具の整備を図っていくこと計画していきたいものと存じます。

## 4 例会の活性化

1時間、60分で、日程をこなすのが困難になり、12時より食事という方法が定着できましたのは、大変良いと思います。今度は例会の内容をどのように充実させて、活性化をはかるか、大変な問題だと感じています。そのもっとも基本的な方法として、出席された方が、どなたも発言して下さるといのが、良いのではないかと思います。これまでも「3分間スピーチ」などいろいろやってきましたが、必ずしも長続きしたとは言えません。どうしたらよいのか、これからも検討していただきたいと存じます。

## 5 奉仕活動の課題

これまでの奉仕活動を振り返りますと、アジサイロードのような多年度にわたるスケールの大きい、奉仕活動、リバティー若栗との共同作業、英語プレゼン大会のようなイベント行事、チャリティコンサート、ダンスパーティーの奉仕を進めてまいりました。会員の年齢も1歳ずつ上がりますし、今年度を振り返りますと、なかなか大変だという印象です。これについても皆様のご意見をよく聞きながら戦略計画を立てたいものと考えています。

## 6 リーダーシップとチームワーク

先にも申しましたが、1959-60年度のハロルド・トーマス会長は、「人は友達を必要とする。そして親睦と善意の雰囲気の中において、最もよく働き、よく遊び、最もよく生活するという単純な事実の上に、ロータリーは、その根拠を置いている。」と語り、その上で、「将来の平和構想が成功を収めるためには、世界では、たった一国としていかに強大であろうとも、すべて、友を必要とする」とわかりやすく述べています。これは、ロータリー運動の原点を語っていると思います。

こうした考えを基礎に、チームワークと活動を推進するリーダーシップが強調されています。また、ロータリーの活動そのものが優れたリーダーを育てるのです。創立50年の間に、2度の悲惨な世界大戦がありましたが、1945年の、国際連合総会には、49名もの代表や顧問、相談役として参加しています。国際連合総会議長になった方もおられます。各地のクラブにおいても、1年ごとに会長を選出し、リーダーシップを育ててきまし

た。高萩ロータリークラブもそうして、リーダーシップを育成しながら、50年を経過してまいりました。そのような人材育成、リーダーシップの向上とチームワークはロータリーの本質的な基盤でもあります。

ところが、今年は、まだ、次々年度会長を推薦できておりません、これを何としても解決しなければなりません。積極的な姿勢で乗り越えてまいりたいと願っています。

## 7 原点に戻って

2度目の会長を引き受けましたが、原則としては1年ずつ順々に会長をお願いしていく態勢を確立したいものと考え、皆様のご協力を切にお願い申し上げます次第です。リーダーシップの育成という、この問題に付け加えますと、もっと大きな課題もあります。地区委員をやっていただくこと、2023-24年度にはガバナー補佐を担当することになります。なお、2021年12月までに、第1、第2分区ではガバナーノミニ・デジグネート(2024-25年度ガバナー)推薦の作業があります。

そのように、ロータリーに活動は、チームワークによる活動の発展と、そこからリーダーシップを育成していくことが、活動の原点であります。それが戦略計画の基調となっていくものです。そこまでいかないうちに、1年が終わってしまう年度末となりました。

### <一年回顧 今川隆幹事>

この1年間、皆さんには小森年度を盛り上げて頂いてありがとうございました。長いようで短かったこの1年間でした。

幹事として組織の調整。クラブは色々な委員会があり、分業し分担して仕事をしています。その中の連絡、調整役として幹事の仕事をしています。又、活動のお膳立てや流れを理解し、大変さを分かち合うことも大切だと感じました。それを上手くこなせるか、事務局、委員会、会員との連絡調整が上手くいったかどうか、いつも不安で気にしながら1年が過ぎました。

今年度は40代の若い会員も増えたので、何回か集まって飲み屋でゆっくり語り合い、親睦を深めることができましたと思います。

例会や理事会の準備も会長、幹事、事務局の3人のグループラインをつくり報告、連絡の強化に努めました。坪和さんが非常によく対応してくれました。クラブのロータリーデーである「萩っ子英語プレゼ

ンテーション大会」、高萩中、秋山中の出前授業、北茨城 RC と共催の少年柔道大会、等十分な青少年奉仕活動が出来たと思います。

3月より始まった高萩 FM の「高萩 RC 情報館」このような媒体を使つての市民広報はクラブのイメージをアップし、会員増強にも役立てると思います。

下半期は新型コロナ感染拡大の影響で活動もままならない状況のもと、ZOOM を使ったオンライン例会や、8回にわたる臨時会報の発行は新しい方向性を示唆していると思います。

第一分区ガバナー補佐の鈴木一良さんからはリーダーシップに関して多く学びました。新会員の皆さんも、今後分区、地区に出ていく様になると思います。奉仕の理念に基づく地域活動の展開を期待致します。最後に小森会長について、例会に参加できない会員のフォローが卓越し大変勉強になりました。奉仕の精神を実行する顔施、和顔施の模範的会長であると思います。皆さんには今年1年間、何かと至らないことがあり、ご迷惑を欠けたこともあります。ロータリーの友情に免じて、お許しをお願いします。何とか次の年度に引き継ぐことが出来そうです。

皆さん！1年間、色々とうありがとうございました。

### <次年度への引継ぎ報告>

#### 米山記念奨学会 沼田操委員長



米山奨学生中国の師成君茨大工学部を卒業し就職した由。お世話になりました由。勝田 RC が主、高萩はサブ。

一度も挨拶連絡なし残念です。

#### 親睦活動・家族委員会 鈴木国男委員長



怪我をして半年欠席しました。コロナの事もあり3クラブのゴルフは延期した。

慰労会は7月22日に予定しているが、今のところ未定です。

#### ロータリー財団 鈴木直登委員長



財団への寄付は残念ながら96%位になりそうです。

ポリオは131%でクリアです。次年度報告事項等よく読んでご協力をお願いします。英語フェスティバルの後援もあり、その辺もよろしく

### 【ニコニコBOX】

小森勇一さん：2019-2020 年度末例会です。1年間みなさまごくろうさまでした。ご協力に心から感謝申し上げます。

今川隆さん：今日は、最終例会です。1年間色々ありがとうございました。

石平光さん：会長、幹事、理事の皆様一年間ご苦勞様でした。コロナ故、慰勞懇親会も出来ず残念です。

田所和雄さん：小森勇一会長、今川隆幹事、一年間ご苦勞様でした。次年度は、ご指導宜しくお願ひします。

花園文熙さん：今年の梅雨はカラ梅雨でしょうか。体に気をつけていきましょう。

大高司郎さん：小森会長、今川幹事、一年間お疲れさまでした。

沼田操さん：小森年度も今日で終わりですね。大変お世話になりました。来年もムチ打って頑張ります。

棚谷稔さん：小森会長さん、今川幹事さんそして役員、理事の皆様一年間御苦勞様でした。

大平敏明さん：一年間小森会長はじめ会員の皆様には、大変お世話になりました。まだまだついていくので、精一杯ですが、これからも頑張っていきます。

鈴木啓志さん：先週の土曜日、4ヶ月振りに、車で東京へ行ってきました。

佐藤利雄さん：ようやく、県外に遊びに行けるかな？

石君平さん：小森会長、今川幹事一年間ご苦勞さまでした。

石川武信さん：最後の例会です。一杯ないのがさびしいです。

大河原浩さん：小森会長、今川幹事、一年間おつかれ様でした。

鈴木国男さん、江尻寛さん、鈴木直登さん、菱川健司さん、平野浩司さん、滝徳宗さん

本日計 20,000円

累計 735,500円

### 【ロータリー財団】

本日計 7,000円

累計 561,100円

### 【ポリオプラス】

本日計 0円

累計 62,174円

### 【米山記念奨学会】

本日計 19,000円

累計 449,560円